

構造改革特別区域計画

1. 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

富田林市

2. 構造改革特別区域の名称

「学びのまち富田林」特区

3. 構造改革特別区域の範囲

富田林市の全域

4. 構造改革特別区域の特性

富田林市域は、大阪府の東南部に位置し、自然と歴史に恵まれた「まち」である。

市の北東平坦部は、南北に流れる石川をはさんで平野が広がり、古くから町が開けたところで、特に富田林寺内町には歴史的に貴重な町並みが残されている。江戸時代に入ると周辺の良好な農業生産力に支えられ、地域一帯の物資の集散地となり、現在の市域に属する村々のみならず、隣接する太子町・河南町・千早赤坂村にわたる地域を、その経済圏として発達してきた。

明治以降、この地に郡役所、税務署、中学校、高等学校などの施設が次々と建設され、富田林は名実ともに南河内の中心地となっていった。

昭和25年の市制施行以後も本市は、南河内の中心的な役割を担いながら、田園都市としても発展し、高度経済成長時代の大阪都市圏の人口急増のもとで、本市においても西部の丘陵地域を中心に、金剛・金剛東団地をはじめ、大小の住宅地開発が次々と行われ、最近では住宅都市へと変貌しながら、現在に至っている。

昭和25年(1950年)4月に、人口約3万人余で、大阪府内で16番目の市として産声を上げた本市は、都市化の進展とともに成長を続け、平成17年に人口12万6千人を超えるに至っている。学校園としては平成17年4月段階において、市立幼稚園13園、市立小学校16校(児童数7,950名)、市立中学校8校(生徒数3,835名)を擁し、教育活動を展開している。

市民からは、これまで進めてきた都市基盤整備に加え、生活環境の改善、教育環境及び内容の充実を求める声が多くあがっており、市としての年次計画を策定し総合的なまちづくりに取り組んでいる。中でも、まちの活性化のために「未来を拓く人材の育成」という市の方針をたて、苦しい財政の中ではあるが予算を確保し、子ども育成のための様々な政策をすすめているところである。市の方針とも相まって、子どもの学力向上、心の育成、体力・健康の充実など、市民から学校園教育に寄せる期待は極めて大きく、様々な意見・要望が学校をはじめ市当局にも寄せられている。

一方で、本市における生活保護家庭率は近隣市町村よりも高く、学校によっては1割をしめるところもみられる。要援護、準援護家庭率も学校によっては在校児童・生徒の半数に迫ろうとしている。さらには市外からの転入による児童生徒数の増加、アジアや南米などからのニューカマーの増加などもあいまって生活基盤が不安定な家庭も多くみられる実態がある。

また、学校現場では「小1プロブレム」「学級崩壊」や「不登校児童生徒の増加」などが大きな課題として、特にここ数年めだってきた。その大きな要因として、家庭の経済的な状況が厳しいことから朝早くから夜遅くまで仕事に出て保護者が家に不在な事や、逆に少しでも収入をより得ようとして夜間の仕事に従事することで昼間に保護者が寝ているような場合もあり、子どもの基本的な生活リズムの形成に不安定な家庭が増えてきて、子どもたちが夜更かしと起床時間の遅さ、朝食をとらずに遅刻登校、登校しても授業に集中できない、体調不良・不定愁訴などを理由として午前中から保健室へ向かうなどの実態

が多くみられる。また、不登校児童生徒数についても、残念な事ではあるが、平成16年度集計では南河内地区(6市2町1村)では最多となっている状況である。

そこで本市では、これらの課題を解決する手だてとして、「小1プロブレム」「学級崩壊」の対策と、基礎・基本の徹底を図ることを目標に平成16年度より市単費で非常勤講師を採用し、大阪府教育委員会から学級編制の弾力的運用の了承を得て、小学校低学年においては35人を超えない少人数の授業編制を行っている。これによって学校生活のスタート時において今まで以上に個に応じたきめ細かな指導をすすめ「学校生活のリズム作り・学習習慣の定着」を子どもたちに育み、学ぶことの楽しさから関心・意欲の高揚をすすめている。その結果、学習者・保護者・学校現場のいずれよりも「教育的な効果があり、継続と拡充を望む声」があがっている。

いま一つ、本市の取組の特徴的なものとして「国際性を身につけた人材の育成」があげられる。

かつて本市の特産品の一つであった「グラスボールやモール(クリスマスの飾り)」をアメリカの「クリスマスシティー」として名高いベスレヘム市へ輸出していた関係で、国内でも早く40年前から姉妹都市を提携し、英語弁論大会、交換生の派遣や市民レベルでの交流などに取り組んできており、国際的な友好親善に対する市民意識の高さがみられる。相まって、最近の急激な国際化が進む中で、市民からも「国際性を身につけた人材の育成」を望む声があり、「子どもたちの異文化理解・異文化対応力や国際的なコミュニケーション力としての英語会話能力」の必要性が求められ、市としてALT(外国語指導助手)を採用し、主に中学校の英語教育において活用するようになった。平成16年度は4名の採用であったが、平成17年度より9名に増員し幼・小での英語活動と中学校での英会話教育を充実させることとした。

今回の構造改革特別区計画は上記2点の政策に関わって、更に取り組を充実させるために行うものである。

5. 構造改革特別区計画の意義

個に応じたきめ細かな指導の推進

先に述べたように、本市では平成16年度より全小学校低学年において少人数編成授業を展開しているが、現在、市単独で採用が可能な非常勤講師では担任を持つことができず、家庭科や音楽科等特定教科の専科としてしか活用できない。このため、小学校の初期段階において重要な、「担任による基本的な集団生活および授業や家庭学習のルール・習慣の定着」がうまく進められていない現実がある。

常勤講師として採用することにより、少人数編成による学級で、生活と学習が同一集団となり、児童の不測の行動や十分でない学習状況に対しても、時間割にかかわらず児童の状況を適切に判断した柔軟かつ時期を逸さない対応が可能となってくる。

また、少人数編成学級での指導は、個に応じたきめ細かな指導が可能となることで、子どもたちからは「先生がよく声をかけてくれる。」「わからない時にすぐ教えてくれる。」、保護者からは「先生がよく声掛けをしてくれるらしく、子どもが学校へ行くのが楽しい」といっている。」「指導内容について家庭にもよく連絡や相談がくる。」、教師からは「以前に比べ子どもに目が届くようになり、指導がしやすい。」「学習時に、子どものつまづきが早期で判り対応ができるようになった。」など様々な教育的効果があがっている。

今後は、規制の特例措置を活用して「市町村費負担教職員任用」を行うことで、更に常勤講師を活用し効果を高め、様々な教育課題を解決する一助としていきたい。

国際化の進展への対応

近年、経済・社会等様々な場面で国際化が急速に進んできている。また、インターネットの普及により高度情報化社会になる中で、ものや情報が国境を超えて活発に移動するようになった。

一方で、食糧問題や環境問題など地球的規模で考え、解決していかなばならない課題も出てきており、21世紀を拓く子どもたちにとっては、確実に他国の人々と協働していく場面が益々増えてくる。また、前述の様に本市は、40年間にわたり姉妹都市友好親善に向けた取組みをすすめてきており、今後小学校間、中学校間での姉妹関係提携なども行う予定である。

その際には、国際的な共通語である英語によるコミュニケーション能力が求められ、他国の文化や生活を受け入れる異文化理解力も必要である。

そのため、本市においては幼稚園の段階から英語や外国人に親しませる機会を多く持ち、規制の特例措置を活用して小学校の教育課程に「基礎英語」の時間を教科として位置づける。中学校では、教育課程の変更は行わないが、「英語」や「選択教科」の時間にALTを活用し、ネイティブによる正しい発音を身につけることや英会話能力の向上を図る。

本政策により、今後求められる「国際性を身につけた子どもの育成」や、現にすすめている姉妹都市との友好親善の強化、更には今後多方面での国際協力をすすめることにおいて有効である。

6．構造改革特別区域計画の目標

本市は、前記「4．区域の特性」にあげたように、まちの活性化のために「未来を拓く人材の育成」という市の方針をたて、苦しい財政の中ではあるが予算を確保し、子どもの育成に様々な政策をすすめているところである。市の方針とも相まって、市民から子どもの学力向上、心の育成、体力・健康の充実などについて学校園教育に寄せる期待は大きく、様々な意見・要望が学校をはじめ市当局にも寄せられている。一方で生活保護家庭率は近隣市町村よりも高く、学校によっては1割をしめるところもみられる。要援護、準援護家庭率も学校によっては在校児童・生徒の半数に迫ろうとしている。さらには市外からの転入による児童生徒の増加、ニューカマーの増加などもあいまって生活基盤が不安定な家庭も多くみられる実態があり、それが子どもたちの学校生活にマイナスの影響を与えていることは確かである。

そこで、市費負担の常勤講師を採用し、35人以下の少人数学級編制を実施することで、個に応じたきめ細かな指導をすすめ、様々な教育課題を解決する一助とする。

具体的には、小学校低学年時においては、学校生活の始まりの時期に集団生活の円滑なスタートと基本的な生活習慣や学びへの姿勢、基礎・基本の徹底などをすすめる。小学校中学年以降中学校に至る学年では、基礎・基本の徹底にはじまり確かな学力の定着や高め合う集団の形成を目標とする。中学校では更に、各個人の適性に応じた進路選択支援を図る。

また、長年市民レベルで継続されている姉妹都市連携からもわかるように、国際的な友好親善に対する市民意識の高さがみられ、それと相まって、最近の急激な国際化が進む中で、「国際性を身につけた人材の育成」を望む強い声があがっている。市としても、子どもたちの異文化理解・異文化対応力や国際的なコミュニケーション力としての英語会話能力の必要性を認識しALTの中学校への派遣をすすめてきた。

今後は、ALTを全中学校に配置し、併せて市内全幼稚園、全小学校に派遣することで、幼・小・中の各段階で国際的なコミュニケーション能力の向上をすすめる。並行して、市としての小学校英語教育のカリキュラム作りや、園児・児童も含めた英語発表会、市独自の評価基準（英語検定）などの研究と実践をすすめていく。

義務教育を終えた全ての市民が、国際性と英会話によるコミュニケーション能力を持ち、今まで以上に国際理解・交流・親善・協力に参画するようになることも期待できる。

7．構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

構造改革特別区計画の実施については、平成19年に再評価・再検討を行い、必要な事項については改善し充実していく。

市費負担常勤講師の採用による学級編制の弾力化による「少人数授業の展開」による効果

本市では平成16年度より全小学校低学年において35人以下の少人数編成授業を展開しており、学校生活のスタート時において今まで以上に個に応じたきめ細かな指導をすすめている。その結果、学習者・保護者・学校現場のいずれよりも「教育的な効果があり、継続と拡充の声」があがっている。

しかし、現在、市単独で採用が可能な非常勤講師では担任を持つことができず、家庭科や音楽科等特

定教科の専科としてしか活用できないため、職員構成からみても学校運営上で問題が生じる結果が生まれている。

少人数編成学級での指導は、個に応じたきめ細かな指導が可能となることで、様々な教育的効果があがっている。また、今後小・中全学年での展開も視野に入れた中では、規制の特例措置を活用して「市町村費負担教職員任用」を行うことで、更に常勤講師を活用して効果を高め、「小1プロブレム」「学級崩壊」「子どもたちの学びからの逃避傾向」「不登校児童・生徒数の増加問題」「生徒指導上の問題行動」「集団行動不応・社会規範遵守意識の低下」等様々な教育課題を解決する一助となる。

幼稚園から中学校までの一貫性ある英語教育の実施による効果

幼稚園から小学校卒業までの一貫した英語学習のカリキュラムを策定し、子どもたちの興味・関心・意欲を喚起することで、中学校での英語教育へとスムーズにつなげる英語の学力を高めていく。中でも、「ネイティブスピーカーによる発音のヒアリング」や「簡単な日常英会話練習」の実践を続けることで、英語学習の基盤を早期より形成し、教育的効果を高めることができる。

併せて、異文化理解の壁を低くすることができ、アジア近隣の他言語にも興味や関心を持つようになる。更には、言語を通してそれぞれの国固有の文化・生活様式などを知り、異文化を理解できる国際性豊かな人材を育成することができる。

経済的社会的効果

市費負担常勤講師やA L Tの採用による雇用増大の効果と、国際交流・協力活動の活性化に応じて英語をはじめとする外国語教育産業や情報産業の振興が見込まれる。

8. 特定事業の名称

- 8 1 0 市町村費負担教職員任用事業
- 8 0 2 構造改革特別区域研究開発学校設置事業

9. 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

小・中学校での少人数編成学級による指導をすすめる事業

市立全小・中学校に加配教員を配し、各校で指導教科・実施学年を決め計画的に少人数編成学級を形成して個に応じたきめ細かな指導をすすめ、子どもたちの確かな学力の育成を図っている。

英語教育や国際理解教育の推進に関する事業

・英語指導助手配置事業

市内全8中学校区に英語指導助手(A L T)を配置し、ネイティブスピーカーによる中学校での発音指導、英会話指導、異文化理解教育などをすすめる。併せて幼稚園や小学校にもA L Tを派遣し、英語活動と異文化理解教育を行うことで子どもたちの国際性を高める。

平成17年度のA L T派遣日数や回数は、各幼稚園に年間4日、各小学校では総合的な学習の時間を活用して「低学年では年間4時間/学級」「中学年では年間8時間/学級」「高学年では年間12時間/学級」の英語活動、中学校は5月上旬より3月初旬にかけて200日間にわたり行う。

・英語弁論大会

姉妹都市協会との協賛で、市内小・中学生・高校生・大学生・一般市民を対象に英語弁論大会を実施している。大会参加、入賞を目標に特に各中学校での取組がすすめられ、英語教育推進の一助となっている。

・交換学生派遣・受け入れ

姉妹都市(アメリカ、ベスレヘム市)と隔年で互いの学生(5名)を派遣・受け入れし、互いの理

解と友好親善を深めている。

小・中の連携をすすめる事業

・「いきいきスクール」

各中学校区において、小・中連携を図り、「学力向上」「生徒指導上の早期課題解決」「子どもの未来を創る進路指導」などを一層推進するため、中学校区における小・中学校間における教員の兼務発令を行い、授業や生徒指導、進路指導等で互いの連携を深めている。

本市では既に、3中学校区において実施し効果をあげている。今後、英語教育を小学校で展開するに際して、中学校英語科教員の兼務発令をすすめる予定である。

別紙 1

1. 特定事業の名称

810 市町村費負担教職員任用事業

2. 当該規制の特例措置の適用を受けようとするもの

富田林市教育委員会

3. 当該規制の特例措置の適用の開始の日

平成17年9月1日

4. 特定事業の内容

(1)事業に関与する主体

富田林市

(2)事業が行われる区域

富田林市の全域

(3)事業の実施期間

平成17年9月より実施し、平成19年度において評価に基づき再検討

(4)事業により実現される行為

平成16年度に取り組んできた少人数学級編制における指導の成果を活かして、市費負担による常勤講師を任用し、学級担任にあてることによって、小学校低学年(1年生~2年生)において、きめ細やかな指導のもと小学校生活の円滑なスタートと基本的な生活習慣や社会性の育成、基礎的な学力の定着や自ら学んでいく姿勢の育成、感性の育成等を図る。

5. 当該規制の特例措置の内容

(1)事業の内容

35人以下の少人数学級編制実施に伴い、市費負担教職員の採用及び配置

(2)当該区域において周辺の地域に比して教育上特に配慮が必要な事情があると認める

理由

本市は、学校教育の活性化のため、「基礎・基本の徹底と個性を伸ばす教育」「生きる力と豊かな心、健やかな身体を育む教育」「特色ある学校園の運営と経営」の3つの大きな柱を立てて、教育を推進している。

「基礎・基本の徹底と個性を伸ばす教育」について特に重要な事項は、基礎的・基本的な内容につ

いての確実な定着である。これまでも、新学習指導要領実施上の課題を明らかにしながら、授業時間の確保や国の第7次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画による加配教員を活用した指導方法の改善、さらには、学力向上フロンティアスクールの取り組みなどを進めている。

平成17年度前期は、小学校低学年（1年生～2年生）において35人以下の少人数編制授業を実施すべく、市費負担による非常勤講師を市内16小学校の内、7小学校に7人配置したが、規制緩和時においては、これを常勤講師とし、かつ35人以下の学級編制を実施するため計画を策定中である。

現在、国語・算数の授業を中心に35人以下の人数で教科指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着・学びの姿勢の育成、並びに、基本的な生活習慣・社会性の育成に努めている。

しかしながら、現在実施している少人数編制指導では、通常の学校生活においては府の基準による学級編制で行い、特定教科のみ新たな学習集団を作って授業を行わねばならず、そこでは様々な課題が明らかになっている。

まず、いわゆる「小一プロブレム」が顕著にみられることである。これには、家庭の経済的な状況が大きな要因としてあげられる。生活保護家庭率も近隣市町村よりも高く、学校によっては1割をしめるところもみられる。要援護、準援護家庭率も学校によっては在校児童・生徒の半数に迫ろうとしている。さらには市外からの転入による児童生徒の増加、ニューカマーの増加などもあいまって生活基盤が不安定な家庭も多くみられる。

さらには、不登校児童生徒についても、南河内地区（6市2町1村）での当該児童生徒人数がトップとなっている。

このような課題を解決するため、小学校の初期段階においては、基本的な集団生活および授業や家庭学習のルール・習慣の定着が重要であり、生活集団と学習集団は同一集団であることが有効である。35人以下の少人数学級編制が可能になれば、生活・学習の同一集団となり、児童の不測の行動や十分でない学習状況に対しても、時間割にかかわらず児童の状況を適切に判断した柔軟でかつ時期を逸しない対応が可能である。

また、基礎基本の主要な教科とされる国語・算数科において学習状況の把握が容易になり、つまづきや理解不足の補充学習が迅速になること、さらには個に応じた学習支援がますます可能になること、等々きめ細やかな指導の展開ができる。

以上のように、少人数学級編制により、より有効な指導を行うことが可能となるが、そのためには、前述のように、市費負担で定数内講師を採用し学級担任をすることができれば基本的な生活面での支援も行うことが可能となる。そのために、この「市町村費負担教職員任用事業」を実施するものである。

なお、大阪府教育委員会により35人以下の少人数学級編制が実施されることとなった場合は、その時点で再検討を行うものである。

(3)市費負担常勤講師配置予定計画等

学 校 名	平成17年度配置計画人数 (合 計)	平成18年度配置計画人数 (合 計)
富田林小学校	1	
新堂小学校	1	2
喜志小学校	1	2
大伴小学校		
彼方小学校	1	1
錦郡小学校		
川西小学校		
寺池台小学校		
東条小学校		
高辺台小学校	1	1

久野喜台小学校		
伏山台小学校		1
喜志西小学校		
藤沢台小学校		
小金台小学校	1	
向陽台小学校	1	
総計	7	7

別紙 2

1. 特定事業の名称

802 構造改革特別区域研究開発学校設置事業

2. 当該規制の特例措置の適用を受けようとするもの

富田林市内の全市立小学校

3. 当該規制の特例措置の適用の開始の日

平成17年9月1日

4. 特定事業の内容

(1) 事業に関与する主体

富田林市

(2) 事業が行われる区域

富田林市の全域

(3) 事業の実施期間

平成17年9月より実施し、平成19年度において評価に基づき再検討

(4) 事業により実現される行為

事業内容

市内全小学校において、市が配置するALT（外国語指導助手）と学級担任が「英語活動」の時間を教科として指導する。小学校1，2学年においては、各学級年間15時間、3，4学年では各学級年間20時間、5，6学年においては年間35時間を設定する。

事業計画

平成17年度

・「英語活動推進会議」を設置し、小学校における「英語活動」のカリキュラムや評価等について検討する。幼稚園における「英語活動」の内容検討と幼小の「英語活動」の連携を検討する。同様に中学校英語との連携を検討する。幼小中すべてにおいて「英語活動」を行う。

平成18年度

- ・小学校「英語活動カリキュラム」の作成と評価基準の設定を行う。
- ・一部の中学校を英語教育推進校として、外国語指導の充実を図り、小中学校一貫したカリキュラムの検討を開始する。
- ・幼稚園における「英語活動」の指導内容を確立するとともに、幼小連続したカリキュラムの検討を

開始する。

平成19年度

・幼・小・中の一貫した英語教育カリキュラムの作成とその再評価・再検討を行う。

5. 当該規制の特例措置の内容

(1) 規制の特例措置の必要性

近年、経済・社会等様々な場面で国際化が急速に進んできており、またインターネットの普及による高度情報化社会の中で、国際的な共通語である英語によるコミュニケーション能力や異文化理解力が「生きる力」として身につけていくことが必要となっている。

外国語（ここでは英語）学習において、早期段階（幼稚園段階）より英語活動による学習を開始することは発音・リズム獲得において非常に有効であり、また、異文化理解への自然な対応ができ、その後の発達段階における異文化理解に対する積極的な態度育成に有効である。

本事業において、幼稚園段階からALTを活用した「英語活動」において英語に親しませる活動を行うとともに、小学校の教育課程に「英語活動」を教科として位置づけ、市立全小学校の全学年において、英会話を中心としたコミュニケーション能力の育成をめざす英語学習を行う。

小学校「英語活動」においては、学級担任が中心となり、ALTとのチーム・ティーチングを主体とし、中学校英語担当教員や地域の人材を活用し、授業を行う。小学校での「英語活動」の取組みを継承し、中学校における教科としての外国語（英語）学習におけるコミュニケーション能力の充実向上をめざす。また、選択教科においては、英会話力のさらなる向上を目指した学習を展開する。

幼稚園段階から小学校における「英語活動」および中学校の外国語（英語）の連続した体系的カリキュラムを編成し、適切な評価規準に基づく評価を行い、子ども一人ひとりの英語に対する興味・関心・意欲を高め、義務教育終了段階で基礎的な英語コミュニケーション能力を持つ人材を育成する。

就学前から中学校までの一貫性のある教育により、子ども達に英語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることができるばかりでなく、カリキュラムの編成や教員の交流を通じて、幼稚園と小学校間、小学校と中学校間の連携をより一層高めることができる。

(2) 要件適合性を認めた根拠

本事業は、特区内の全ての小学校を対象としており、憲法第26条や教育基本法第3条にいう「教育の機会均等」に適合する。

また、本事業は、国際化及び情報化の進展が著しい現在にあつて、英語によるコミュニケーション能力を育てることによって、お互いの習慣・文化及び考え方を理解し、世界の人々と共に平和な世界を建設していこうとする態度を育成することを目指しており、教育の目的である人格の完成を示した教育基本法第1条に適合する。

「英語活動」は、小学校1・2年生については「生活科」、3年生以上については「総合的な学習の時間」の一部を活用して実施する予定である。

「生活科」の目標は、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。」とある。「英語活動」に取り組むことにより、自分の身の回りにいる外国の人々について考えさせ、その人々とコミュニケーション能力を育てることができ、「生活科」の目標を補完することができる。

また、「総合的な学習の時間」は、国際化や情報化など、社会の変化に対応できる能力や資質（「生きる力」）を育成するため、教科の枠をはずし、横断的・総合的な学習を各学校が地域や児童の実態に応じて実施する時間である。

・転入生への対応について

市立小学校への転入生については、各学校においてガイダンスを兼ね個別の指導を行うことで対応することができる。

(3)取り組みの期間

平成17年4月1日から、現在の学習指導要領に基づいて教育課程が実施される間（新しい学習指導要領が示された時点で、その後の継続等について検討する）。

また、毎年度ごとに検討し、修正を行うが、当事業開始より、2年が経過した平成19年度に再評価・抜本的見直しを行う。

(4)教育課程の基準によらない部分

小学校に教科としての「英語活動」を設置する。

1・2年生：各クラス年間15時間を「生活科」より削減し、設置。

3・4年生：各クラス年間20時間を「総合的な学習の時間」より削減し、設置。

5・6年生：各クラス年間35時間を「総合的な学習の時間」より削減し、設置。

(5) 教育課程の内容等

【学習指導要領による教育課程授業時数】

	各教科の授業時数									道徳	特別活動	総合的な学習	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育				
第1学年	272		114		102	68	69		90	34	34		782
第2学年	280		155		105	70	70		90	35	35		840
第3学年	235	70	150	70		60	60		90	35	35	105	910
第4学年	235	85	150	90		60	60		90	35	35	105	945
第5学年	180	90	150	95		50	50	60	90	35	35	110	945
第6学年	175	100	150	95		50	50	55	90	35	35	110	945

【特区における教育課程授業時数】

	各教科の授業時数									道徳	特別活動	総合的な学習	英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育					
第1学年	272		114		87	68	69		90	34	34		15	782
第2学年	280		155		90	70	70		90	35	35		15	840
第3学年	235	70	150	70		60	60		90	35	35	85	20	910
第4学年	235	85	150	90		60	60		90	35	35	85	20	945
第5学年	180	90	150	95		50	50	60	90	35	35	75	35	945
第6学年	175	100	150	95		50	50	55	90	35	35	75	35	945

(6) 「英語活動」指導計画概要

平成17年度 富田林市立小学校「英語活動」指導計画概要(案)

回数	1・2年	3・4年	5・6年
1	あいさつ Hello. Hi. Good-bye. See you. 自己紹介 I'm ~ My name is ~ 歌 Hello Song	あいさつ Good morning, Hello, Hi, Nice to meet you. チャンツ 歌 Good morning to you ゲーム Greetings	自己紹介(詳細な自己紹介) Hello. I'm ~. I'm eleven. I like bananas. I like soccer. Do you have a brother? 歌 London Bridge
2	数字で遊ぼう(1~20) What number is this? It's seven. How many ~ do you have? I have three. ビンゴゲーム	基本あいさつと自己紹介 My name is ~ Nice to meet you. ゲーム Hello. Nice to meet you 歌 Hello Song	自己表現 元気? How are you? I'm hungry. チャンツ ゲーム Cockroach
3	色で遊ぼう What color is this? Touch color ゲーム、color カルタゲーム 歌 The black cat song	感情表現 happy, sad, angry, etc ゲーム Quick Response	天気と四季 How's the weather? It's sunny. What's the season? It's summer. チャンツ ゲーム Karuta
4	体を使って遊ぼう Touch your nose. Simon Says ゲーム 歌 Hokey Pokey song	教室のもの「これは何？」 What's this? It's a pen. 歌 What's this? チャンツ ゲーム Touch and Guess	私のペット Do you have a pet? Yes, I do. I have a cat. His name is ~ ゲーム Hexagon
5		動物の名前を覚えよう Is this a dog? Yes, it is. チャンツ ゲーム Guessing game	給食 Do you like school lunch? ゲーム Cross-cross Quiz Time Bomb Bingo
6		果物について英語で話そう Do you like apples? Yes, I do. チャンツ ゲーム Ostrich	将来の夢 I want to be a baseball player. ゲーム Flashcard Time Bomb Hexagon
7		食べ物について英語で話そう What food do you want? I want pizza. チャンツ ゲーム Greed	家族 I have a little brother. 歌 Mother finger ゲーム Play House
8		形に慣れよう circle, triangle, square, oval, etc ゲーム Touch and Guess カルタゲーム	教科 Do you like science? Yes, I do. チャンツ ゲーム Time Bomb Rows!
9			何時ですか What time is it now? It's ten fifteen. ゲーム Janken Play

10			何曜日ですか？ What day is it today? It's Friday. 歌 Sunday, Monday, Tuesday ゲーム TV Quiz
11			何月ですか？ What month is it? It's February. 歌 The 12 months ゲーム Karuta
12			スポーツ What sport do you like? Let's play baseball. チャンツ、歌 Come on and join in to the game

平成18年度 1・2年「英語活動」指導計画概要(案)

回数	題材・活動	回数	題材・活動
1	あいさつ Hello. Hi. Good-bye. See you. 自己紹介 I'm~ My name is~ 歌 Hello Song	9	教室のもの 持ち物について尋ねあう Is this your bag? Yes, it is. Here you are. Thank you very much.
2	あいさつ Good morning, Hello, Hi, Nice to meet you. チャンツ 歌 Good morning to you ゲーム Greetings	10	チャンツ ゲーム Touch and Guess
3	色で遊ぼう What color is this? Touch color ゲーム、color カルタゲーム	11	自分の住む町の言い方を知る。 Where do you live? I live in Tondabayashi.
4	歌 The black cat song	12	町のものについて英語で言う。 自分の家の電話番号の言い方を知る。 歌 Boom Chick-a- boom
5	数字で遊ぼう(1~20) What number is this? It's seven. How many~ do you have ? I have three.	13	ハローウィーンを楽しむ Who are you? I'm a monster! Trick or Treat!
6	ビンゴゲーム	14	クリスマスを楽しむ Merry Christmas! 歌 クリスマスソング

7	体を使って遊ぼう Touch your nose.	15	英語で遊ぼう(復習) ・今まで習ってきた英語の復習 ・今まで習ってきた歌・ゲームで 楽しく遊ぶ。
8	Simon Says ゲーム 歌 Hokey Pokey song	* 13/14回目については、各校の進捗と時期を考えて実施する。	

平成18年度 3・4年「英語活動」指導計画概要(案)

回数	題材・活動	回数	題材・活動
1	あいさつ Good morning, Hello, Hi, Nice to meet you. チャンツ	11	果物について英語で話そう Do you like apples? Yes, I do.
2	歌 Good morning to you ゲーム Greetings	12	チャンツ ゲーム Ostrich
3	基本あいさつと自己紹介 My name is ~ Nice to meet you.	13	食べ物について英語で話そう What food do you want? I want pizza.
4	ゲーム Hello. Nice to meet you 歌 Hello Song	14	チャンツ ゲーム Greed
5	感情表現 いろいろな気分の言い方を知る。 How are you? I'M happy. happy, sad, angry, etc	15	スポーツ What sport do you like? Let's play baseball.
6	ゲーム Quick Response	16	チャンツ、歌 Come on and join in to the game
7	教室のもの「これは何？」 What's this? It's a pen. 歌 What's this?	17	形に慣れよう circle, triangle, square, oval, etc
8	チャンツ ゲーム Touch and Guess	18	ゲーム Touch and Guess カルタゲーム

9	動物の名前を覚えよう Is this a dog? Yes, it is. What animal do you like? I like dogs.	*19	ハロウィーンを楽しむ Who are you? I'm a monster! Trick or Treat!
10	Do you like cats? Yes, I do. チャンツ 歌 Old MacDonald ゲーム Guessing game	*20	クリスマスを楽しむ Merry Christmas! 歌 クリスマスソング

平成18年度 5・6年「英語活動」指導計画概要(案)

月	時間	題材・活動	月	時間	題材・活動
4	2	自己紹介(詳細な自己紹介) Hello. I'm ~. I'm eleven. I like bananas. I like soccer. Do you have a brother? 歌 London Bridge	12	2	2学期の復習 クリスマスに関する活動
5	2	自己表現 元気? How are you? I'm hungry. チャンツ ゲーム Cockroach	1	2	病気 どうしたの? What's wrong? I have a fever. チャンツ 歌 Hello, how are you? ゲーム Hello, Doctor
	2	天気と四季 How's the weather? It's sunny. What's the season? It's summer. チャンツ ゲーム Karuta		2	スポーツ Can you play soccer? Yes, I can. チャンツ 歌 Let's Play Baseball ゲーム Pairs
6	2	私のペット Do you have a pet? Yes, I do. I have a cat. His name is ~ ゲーム Hexagon	2	2	衣服 ~がほしい What clothes do you want? I want a T-shirt. チャンツ ゲーム Greed
	2	給食 Do you like school lunch? ゲーム Cross-cross Quiz Time Bomb Bingo		2	買い物 いくら? How much is it? ゲーム Shopping
7	2	1学期の復習	3	1	3学期の復習
9	2	将来の夢 I want to be a baseball player. ゲーム Flashcard Time Bomb Hexagon			

	2	<p>家族</p> <p>I have a little brother.</p> <p>歌 Mother finger</p> <p>ゲーム Play House</p>
10	2	<p>教科</p> <p>Do you like science? Yes, I do.</p> <p>チャンツ</p> <p>ゲーム Time Bomb Rows!</p>
	2	<p>何時ですか</p> <p>What time is it now?</p> <p>It's ten fifteen.</p> <p>ゲーム Janken Play</p>
11	2	<p>何曜日ですか？</p> <p>What day is it today?</p> <p>It's Friday.</p> <p>歌 Sunday, Monday, Tuesday</p> <p>ゲーム TV Quiz</p>
	2	<p>何月ですか？</p> <p>What month is it? It's February.</p> <p>When is your birthday?</p> <p>It's in June.</p> <p>歌 The 12 months</p> <p>ゲーム Karuta Interview</p>